

西宮市議会議員

まさたけ

初志をいつまでも忘れず
行動し続けます。

田中正剛

市政・市議会報告

<http://www.masatake.jp>



税金のゆくえ ～平成23年度予算～

平成23年度予算に賛成・可決。貯金の切り崩しや赤字の穴埋め借金は昨年度より減少しました。財政の健全化を意識した予算と言えます。

■持続的な財政健全化が必要

3月議会において、平成23年度予算が可決しました。内容は右のとおりです。財政の硬直状況を示す経常収支比率は、101.2%と、まだまだ高くなっているものの(70～80%が適正とされています)、前年度よりも3%改善した内容となっています。また、実質公債費比率は10%となり(25%を超えると危険水域)、新市長の公約どおり、財政の健全化を意識した内容の予算となりました。限られた紙面ですので、一部となりますが、中面でもご報告いたします。

■予算総額と前年度比較

	予算額	前年度比較
一般会計	1741億円	130億円増加
特別会計	751億円	28億円増加
企業会計	484億円	60億円増加
合 計	2976億円	218億円増加

■借金残高の見込み

	年度末見込み	前年度比較	市民一人当たり
借金残高	2765.2億円	81.3億円減	57万円
内 訳	一般会計	1734.7億円	44.4億円減
	特別会計	7.4億円	0.9億円減
	企業会計	1023.2億円	36.1億円減

■主な一般財源の状況

	予算額	前年度比較
市税	810億円	0.3億円減
地方交付税	109.2億円	42.8億円増
臨時財政対策債 (赤字の埋め合わせ借金)	65.5億円	11.4億円減
貯金(財政基金・減債基金) の取り崩し	33.4億円	15.6億円減

議会改革 ～地方議会の存在意義とは～

今任期最後の定例会で議員提案した「西宮市第三セクター等への関与に関する条例(案)」は継続審査、「議員報酬等支給制限条例(案)」は可決されました。

■議会で議論をすることなく

継続審査と結論付けた会派も

当市議会報告27号でご報告しました議員提案条例は、総務委員会において審議されました。私は、提出者を代表して質問に答弁するために総務委員会に出席しました。委員会では、市の担当者から述べられた消極的な主旨の意見が尊重され、ただちに可決とはならず、継続審査との結論が過半数となりました。議事録がホームペー

ジで公開されている本会議での議論は一切ありませんでした。また、委員会に所属していない会派(市民ネット虹)は、全く議論をすることなく継続審査に賛成するなど、活発な議論は行われませんでした。形ばかりではなく、中身の伴った議会改革の必要性を痛感しました。当条例案は、任期満了につき廃案となる見通しです。

■議員報酬等の支給制限に関する条例も議員提案

逮捕拘留された際の議員報酬や政務調査費などの支給の差し止め、有罪の際には不支給とする旨の「議員報酬等の支給等の制限に関する条例」を議会改革特別委員会で議論してきました。しかし、会派「市民ネット虹」のみが反対したため委員会提出とはならず、本会議最終日に賛同者の一員となって議員提案し、可決しました。

平成23年度予算に盛り込まれた主な事業のうち、これまで議会で提言し、動き出した事業を中心に報告します。

■子育て・教育環境の向上

○市の学力調査の拡充(悉皆調査の実施):3300万円

市民文教委員会の決算や予算の審議の際に取り上げ続けてきました。新年度では市独自の学力調査が拡充されることとなり、今後は、その結果を、子どもたち一人ひとりの学力向上に活かすよう求めています。

○学力向上アクションプラン:2800万円

学力調査によって得られたデータをもとに、理科の基礎学力向上を図るために、理科支援員が配置されます。

○教育連携事業:1000万円

昨年度、地域の方々の参画を得て、全小中学校で教育連携協議会が立ち上がり、今年度は機能拡充が図られます。これまでに二度、一般質問で取り上げ、実効性の向上を訴えているものの、まだまだ活かされていない「学校評価システム」の実効性の向上も期待しています。

○IT技術を活用した児童の安全対策

5年以上前の平成16年12月議会と18年3月議会の一般質問で導入を提言。当時の教育委員会は消極的でしたが、PTAの皆さんの熱心なご要望などの結果、16校(大社、香櫨園、段上西小学校など)で実施されることになりました。児童が登下校時に校門を通過すると、登録した保護者等の携帯電話へメールが配信されるというIT技術を活用したもの(有料サービス)です。常任委員会では、一部の会派からの批判的な発言もありましたが、是非とも継続・拡充すべきシステムであると考えています。

○放課後子ども教室の拡充:450万円

様々な分野で地域依存が増加し、負担が大きくなっているのが現状です。当該事業もボランティアによる担い手の確保(学習アドバイザー・安全管理員)が課題となっており、現状のままでは地域差が表れることは必至です。私も現場に参画しています。ボランティアのお申し出など、お問い合わせもお待ちしております。

※放課後子ども教室の目的

地域の全ての小学生を対象として、放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用し、安全安心な子どもの活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画(運営委員会・コーディネーター・安全管理員・学習アドバイザー等)を得て、子どもたちに勉強やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の機会を提供することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する

○公立学校の普通教室に空調設備を一斉に設置するためのPFI

手法※1適用の検討:600万円

○幼稚園における保護者負担の公私間格差の是正(子供一人に対する公費投入額の不公平の是正)

:5億6300万円(6800万円増加)

平成21年決算時には、負担額の差が約2.16倍であったものが、平成23年度予算段階で約2.10倍と、わずかですが格差解消に向けた予算措置がなされました。

幼児期の保育教育審議会での議論の結果、私立幼稚園の最低保育料と公立幼稚園の保育料の差をなくすことを当面の目標とする旨の報告がなされました。なお、公立幼稚園の保育所への転用、統廃合問題は、まだ結論が出ておりません。

○幼児期の教育保育審議会の継続実施:360万円

○保育ルーム※2事業:1億7000万円

平成22年6月議会一般質問で取り上げた、「市営住宅を活用した保育ルームの開設」も実現されました。認可保育所の定員増と合わせて、待機児童が多い3歳未満の待機の解消に向けて取り組まれています。

○公園遊具更新事業:480万円

これまで、本会議では公園の適正化について、厚生常任委員会では、遊具の安全性の確保のための定期点検と補修の実施を訴えてまいりました。新年度から危険度判定調査等により、必要な遊具の更新が行われます。

■高齢者福祉

○権利擁護支援センターの開設:3100万円

○災害時要救護者(高齢者)実態把握調査にかかるシステム改修:900万円

※1)PFI手法:施設や設備の整備において、事業資金の確保から設計・建設工事・施設の運営までをすべて民間企業が担い、建設後に、市が、その建設代金やサービスの対価を契約で決められた期間にわたって支払う事業手法。

※2)保育ルーム:児童の保育に熱意のある人が、自宅等を開放し、保育に欠ける児童を家庭的な雰囲気の中で保育することを目的とする施設で西宮市が認定したもの。西宮市では、待機児童が特に多い、3歳未満児を対象にしており、保育料も比較的に低廉な保育施設です。



■場当たりのなお役所仕事の改善

- 中長期修繕計画事業の拡充:1億4500万円
平成21年6月議会の一般質問にて計画の形骸化を指摘。昨年度に比べて、計画的な修繕事業費として、約1億2000万円増額されました。
- 公共施設マネジメント事業:580万円
平成18年6月議会・平成21年6月議会の一般質問にて導入の必要性を提言。
- 街路樹現況調査・台帳整備事業:1000万円
- 道路更新計画策定事業:2800万円
平成20年12月議会一般質問にて提言。道路舗装及び交通安全施設を点検し、補修・更新計画を策定。
- 西宮旧港周辺整備事業(平成24年度～)
県・地元住民・港湾利用者との意見交換会を開催。

■協働のまちづくり

- 以下の項目のいずれも、平成18年6月議会及び平成22年6月議会一般質問にて提言した内容です。
- 団塊世代の支援事業(ボランティアと事業のコーディネート機能):400万円
 - 補助金制度の再構築:170万円
 - 自治会加入促進パンフレットの作成
 - 協働事業提案制度の拡充:130万円
市からの事業提示型の提案募集も実施されます。

■その他

- スポーツ振興基本計画の策定:84万円
平成20年3月議会一般質問にて提言。市のスポーツ振興に関する基本的な考え方や方向性を示す計画を策定する基礎データを得るために、23年度は市民アンケートが行われます。

■新年度予算の一般会計支出の概要

主な性質別支出		予算額	前年度比較	増減の主な要因等
消費的経費		1144.5億円	62.7億円増	
主な内訳	人件費	344.8億円	11.9億円減	退職者の減少(40名減)による退職金の減少
	維持補修費	29.1億円	1.1億円増	社会基盤の老朽化が進めば、今後ますます増える可能性を秘めた経費と考えています。
	扶助費	420.5億円	59.2億円増	生活保護扶助費 :134.3億円(約20億円増加) 子ども手当給付費 :118.7億円(約31億円増加) 民間保育所運営費負担金 :37億円(約3.6億円増加)
投資的経費		228.6億円	107.6億円増	東部総合ゴミ処理センター :71億円 特別養護老人ホーム :20億円 保育所建設補助等事業費 :8億円 小・中学校耐震補強事業 :7億円
公債費(借金の返済)		242億円	2.6億円減	低金利のものへの借り換えのための元金返済も含む
一般会計合計		1740億円	130億円増	

紙面の都合上ごく一部の掲載となっております。詳細データは市のホームページに掲載されております。
また、詳細資料のご請求は、事務所までご連絡ください。部数は限られておりますが、お届けいたします。

「約束」のかたち：「市議会報告」発行の継続

私が始めて市会議員に挑戦した時に、「選挙の前だけ皆さんの前に現れるような政治家にならない」と「約束」しました。これからも、「市政・市議会報告」を発行し、広く市民の皆さんに、市政の現状をお伝えしたいと考えています。しかしながら、限られた地域での配布となっており、毎号皆様のお手元にお届けすることが困難な状況にあります。毎号定期購読(無料)していただける方、お知り合いの方などへの「市政・市議会報告」の配布にご協力いただける方(ボランティア)のご連絡をお待ちしております。必要部数をお届けいたしますので、是非ともご一報ください。また、バックナンバーをご希望の方は、ホームページからもダウンロードできますし、下記までご連絡いただければ、お届けいたします。是非ともご覧下さい。



当市議会報告の原稿を作成・印刷し、自前で皆さまのお手元にお届けするまでは、一定の時間を要します。前号を配布している最中に発生しました大震災に関しまして、市の支援の状況や市議会の対応につきまして数多くのお問い合わせやご提案を頂いております。リアルタイムの情報提供には限界がありますが、この紙面でもできる限りホットかつ身近な情報を掲載してまいりたいと考えております。

最後になりましたが、このたびの大震災によりましてお亡くなりになった方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災されました方々に心からのお見舞いを申し上げます。

東日本大震災における西宮市の主な支援の状況（4月1日現在）

■市の支援（一部抜粋）

- 職員派遣（消防局、水道局、保健所、下水道部等）順次、現地調査隊や援助隊を派遣（3月11日～、延べ100名超）
- 給水車の派遣（3月14日～）
- 3月14日に西宮市支援対策本部を設置
- 支援物資（仮設トイレ、活性炭を含む）を要請に基づき順次送付（3月17日～、いわき市、郡山市等へ）
- 市営住宅の提供（3月19日～募集開始、総数50戸）
- 義援金の受付（市役所本庁、各支所及びサービスセンターなどに募金箱を設置）
- ボランティアを受け付ける民間団体の紹介
- 市民から支援物資を募集（3月22日～31日、以降の実施は未定）⇒合計1724件の支援が集まり、福島県いわき市、宮城県石巻市、宮城県気仙沼市へ送付。
- 市民からの支援の申し出や被災者等からの電話相談窓口を開設（4月4日～）⇒電話番号は…0798-35-3001

■市議会の対応

- 被災経験市の使命として最大限の支援を行う旨の決議を可決
- 中核市議長会を通じて、義援金100万円を送付
- 会派から市長に対して各種提案を申し入れ

■平成22年度予算の予備費で対応したもの

支援項目	充当額
見舞金	120万円
職員派遣関連	1320万円
救援物資	870万円
その他（地震当日の津波注意報への対応）	50万円

■平成23年度補正予算（市長の専決処分）

支援項目	補正額
中核市市長会見舞金	300万円
職員派遣関係	1億6350万円
住宅提供支援（社宅等の借り上げ）	1100万円
ボランティア派遣の援助	420万円
支援物資	2000万円
市営住宅の提供	45万円
被災自治体への支援	330万円
その他	300万円
合計	2億800万円

●被災経験を活かした支援を迅速に遂行するとともに、市民の生命と財産を守るために、改めて、市の防災計画・減災対策を見直す必要があります。

「約束」のかたち：市政報告・意見交換会の出前

～お問い合わせ・お申し込みは下記の連絡先までお願いします～

いつまでも皆さんからのご意見を聞く耳を持ち続けるという約束を果たすべく、既存の会合やミニ集会、勉強会に呼んで頂くなど、市政報告や意見交換会の出前を行っています。当方で日程や議題・会場を決めて集まって頂くよりも、皆さんのご都合に合わせて、皆さん

の関心事に合わせた議題を取り上げることで、活発な意見交換を行い、議論を深めたいと考えています。

急には政治は変わりません。まずは気軽に、より多くの方と意見交換を行い、政策を市に提案していくという地道な活動が、これからの西宮を創るため

に、重要なことだと実感しています。2、3人のミニ集会から十数人規模の会合まで形式を問わず、日程等を調整して実施いたします。ご希望の方、実施にご協力をいただける方のご連絡をお待ちしています。

ご意見ご要望・お問い合わせ・資料のご請求は

〒662-0854 西宮市櫛塚町1-14 光永ビル3階

TEL: 0798-22-5172

FAX: 0798-22-6172

E-mail: nishinomiya@masatake.jp

田中正剛 たなか まさたけ

profile

昭和50年7月生まれ/大阪府立四條畷高等学校、神戸大学工学部卒業/元市議会議員事務所に4年間勤務/平成15年4月に西宮市議会議員選挙初当選 ■所属会派:にしのみや未来 ■政党:保守系無所属 ■現在の担当常任委員会:市民文教常任委員会 ■市議会での主な役職:建設常任委員会副委員長(1期2年目)、厚生常任委員会委員長(1期3年目)、西宮市監査委員(2期1年目)、フレンテ問題特別委員会委員長(2期3年目～)